

堀越先生 おすすめ本

『ふなずしの謎』

滋賀の食事文化研究会／編 サンライズ印刷出版部 (1995)

琵琶湖の伝統食として、最古のすしの形態を残す「ふなずし」。なぜ琵琶湖でふなずしが作られるようになったのか、もともとはどこから来たのかなどの歴史から、栄養と効用、食べかたまでを紹介した一冊。

『食べ伝えよう滋賀の食材』

滋賀の食事文化研究会／編 サンライズ印刷出版部 (2012)

伝統野菜や琵琶湖の魚介類など、滋賀県にしかない固有種を含む季節の食材 66 品目をカラー写真入りで紹介する。『中日新聞』滋賀総合版掲載記事を加筆修正して単行本化。

『ナマズの博覧誌』

秋篠宮文仁・緒方 喜雄・森 誠一／編著
誠文堂新光社 (2016)

人文科学、社会科学、自然科学の各分野における研究者や作家らが諸分野の視点から「ナマズ」を論じる。ヒトとナマズの数千年にわたる関係史、文化誌のすべてを網羅。

※すべて京都府立図書館で所蔵しています。

